

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月15日 更新

事務事業名		阿蘇くまもと空港国際線振興協議会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	27	商工業の振興			所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	72	人材確保と生産・販売力の強化			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11491	根拠法令	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会会則	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会に参画する事業。昭和58年より当協議会は、阿蘇くまもと空港に現に就航している国際線の振興を促進するとともに、新規国際線の導入対策を図ることを目的としている。また、当協議会においては、県をあげた取組みを推進し、阿蘇くまもと空港の国際拠点性を一層高めていくために本市としても平成22年度より加入している。
【業務の流れ】	・総会及び幹事会への出席 ・阿蘇くまもと空港国際線振興協議会への負担金の支出 ・ホームページでの情報発信
【主な予算費目】	・負担金、補助及び交付金 ※阿蘇くまもと空港国際線振興協議会会則により会員の負担金が必要。
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
阿蘇くまもと空港国際線振興協議会へ参画し、阿蘇くまもと空港と国際定期便の利用促進に努めた。		阿蘇くまもと空港国際線振興協議会への参画に伴う負担金の支出	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 会議の参加回数	回		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
⇒ ア: 阿蘇くまもと空港国際線利用者	便	⇒ ア: 国際線の運行便数/週	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
⇒ ア: 当市に興味を持ってもらい、来訪していただく。	人	⇒ ア: 国際線の旅客数	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
国際線振興を目的とし、国際線旅客数を目標値として設定した。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		回	1	1	1	0	1	1	1	1	
② 対象指標		便	0	0	20	24	30	30	30	30	
③ 成果指標		人	0	18,894	100,000	163,919	200,000	200,000	200,000	200,000	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円			50	50	50	50	50	50
		(A) 事業費計	千円	0	0	50	50	50	50	50	50
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	50	50	50	50
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	10	10	10	0	10	10	10	10
		(B) 人件費計	千円	39	38	39	0	39	39	39	39
	トータルコスト(A)+(B)		千円	39	38	89	50	89	89	89	89

事務事業名	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会参画事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 台北・ソウル・香港との定期路線が就航し、85%を超える搭乗率で好調に推移している。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協議会において熊本～香港線、熊本～ソウル線、熊本～台北線の利用促進に関連した事業や、グループを対象とした助成事業を実施し、更なるPR活動を行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 半導体関連企業の進出によるビジネス利用や、修学旅行等中長期的な需要の掘り起こし、LCCの就航に伴い、新たな来熊者の増加を期待でき、重点的に取り組むことにより、向上の余地あり。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県内全市町村が参画しており、事業遂行のための最小限の予算であるため削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取り組みではないので公平性は保たれている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 阿蘇くまもと空港国際線振興協議会は県内自治体及び経済団体等で構成されており、連携し一体となって活動していることから行政が役割を担うものである。

3 評価結果の総括（CHECK）

阿蘇くまもと空港の国際線振興をはじめ、本市の観光振興という意味合いも含め、県を中心とした広域行政の取り組みとして積極的に参画していきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												